自由記述全意見

(※文学研究科図書館以外の図書館・室への意見も含まれている。)

- 図書館（とくに附属）の空気が悪いので換気をしっかりして欲しい。休日のアルバイトとおぼしき受付の人の知識がなさすぎるので、図書館についてのある程度の講習をしてほしい。資料検索の助けになる司書の人をもっと充実させて欲しい。
- 冬場の暖房がちょっと寒いです……。でも資料にとって適温なら仕方ないと思いますが。あと私費での学外からの文献・複写物の取り寄せを学部の図書館でもやってほしいです。
- 文学研究科閲覧室についてですが、貴重な書籍が多くあるわりに、飲食の問題も含め、書籍に対する保護が十分に配慮されていないと思われるところがあります。自習用のスペースと閲覧用のスペースを分け、後者では飲食の取締りを徹底するなどの工夫がいるのではないのでしょうか。
- 冬場、玄関地下書庫の暖房が弱すぎるのでは……。もし、図書にとって暖房がよくないのでは仕方ありませんが……
- 司書さんの言葉遣いに多少不親切さを感じることがあります（お仕事自体は迅速だと思います）
- 文学部図書館にもインターネット及びレポート作成に使えるパソコンがほしい。せめて貸し出しノートパソコンがあれば。また9時か10時頃まで閲覧室をつかいたい。
- あまりに便利な場所に図書館があると利用者が多くなって使いにくくなるので今ぐらいが適当だと思います。5限終了後もしばらく開いているし、私のような他学部の学生でも自由に使えるので有難いです。（文学部図書館）
- 増大する一方の蔵書量に対応する、床面積の確保。
- 大きな不満はありません。卒業生でも利用勝手がよいのはありがたいことです。
- 利用者層を調べてその人たちの要望をピンポイントで聞く利用が少ない層に対する呼びかけを行う
- 図書の返却の処理がきちんとなされないことが時々あるようです。規模の大きい大学ですし、一度分からなくなると再び見付け出すのも大変でした。「なくした勘違い」などどうたがわれるのも気分良いものではありません。このようなこともありましたが、他大学から進学してきたばかりの頃から今まで丁寧に教えていただき満足しております。ありがとうございます。
- いつも、気持ちよく図書館を使わせていただき、ありがとうございます。
- EJのための負担金が相当な額になり、大変である。大学にとっての基本的インフラの一つとして、大学全体がEJのためにもっと資金を充てるべきであると思う。
- 利用の利便性について、更に努力していただければありがたい。たとえば利用時間、曜日の拡大について、貸出業務についてだけでも検討いただければありがたい。
- 春と秋は暑いと思います。コピーカード売り場がほしいです。
- 文学部に所属する者として、文学部の図書館は、以前から非常によく努力して利用者への配慮をしてくれていると感じ、スタッフに感謝するとともに、誇りに思っています。一方で、学内の他の部署では多くの蔵書が個人研究室保管となっていたり、施設の整備や移転その他を理由にして利用者へのサービスができていないところがあります。昨今おびただしい量の本が出版され、それをどのように取捨選択して所蔵していくかの配慮が必要になってくると思っております。電子化は重要ですが、利用の仕方がよく分からないというのが実感です。紙媒体で親しんできた雑誌が電子化して最新の号を見られなくなったものがあります。各部署でどの雑誌がどれほど電子化されているのか、どのようにしたらみることができるのかなどを、紙媒体で知らせていただけたらたすかるなあと思っております。（大学全体では、雑誌の量が多すぎて、使い勝手が悪いという印象を持っています。）
- 文学研究科図書室は、貸し出し期間において、文学部関係者と他部局との間に余りにも差をつけすぎているように思えてならない。少なくとも院生以上は貸し出し期間を2週間から1ヶ月に延長してほしい。私の所属している人・環は、文学研究科図書室を利用することが非常に多い。文学研究科と研究分野が重なることも多いにもかかわらず、この差は研究環境において大変な不公平を生じさせている。早期の検討見直しを求めたい。
- 他研究科院生は文学部図書室の書庫に入庫できないので、該当図書のみしか、出納してもらえない状況です。実際に入庫することによって、関連文献等を発見することができることもあるので、できるだ

け、入庫を認めてほしいです。できれば、土曜も開室してもらえると研究上、助かります。

○文学部の資料を閲覧するのに、他学部の人には不便。(書庫に入れない。図書の閲覧だけでも、各図書のタイトル等を紙に書く必要がある。)例えば、文学部の考古系資料は理系にとっても重要な資料であり、短い時間の中で多くの図書を見なくてはならない場合がある。しかし他学部の閲覧に上記のような制限があると利用しづらく、不便である。

○文学研究科図書館は学習や研究のための環境および図書が割合充実していて、非常にありがたいと思います。しかし、それだけに最近延長された書庫の利用可能時間をさらに延長していただけることを熱望しています。できれば 21 時くらいまで利用できれば、さらに利便性が学生にとって向上すると思います。また附属図書館については、2 週間という貸出期間はともかく、院生で貸出可能数が 5 冊というのはあまりに少なすぎ。しばしば窮屈な感じを受けます。予約の入ったものは返却を促すなど、煩わしいかもしれませんが、柔軟な対応をよろしくお願いします。

○部局図書室も多くが土日祝日開館していれば便利

○職員の方々には丁寧に対応していただいているのでありがたいと思っています。貸し出し期間が短いように思います。入庫時間延長は大変助かります。

○文学部閲覧室の開館時間について要望ですが、もう少し夕方・夜を長めに開けていただけないでしょうか。授業に出た後だと十分資料を探す時間が取れず困っています。

○自分の所属する研究科以外の図書館で資料を借りることがより容易にできるようにしていただきたいです。

○文学研究科の図書館につきまして、庫内に複写機が設置されれば大変便利かと思われます。

○文学研究科図書館でも図書購入のリクエストを反映させてほしいです。

○文学研究科図書館、そしてとくに附属図書館について、参考図書を新しい情報のものに買い換えてもらう必要を感じます

○土日祝日の開館を希望します。一日の開館時間を夜 9 時以降まで延ばして下さい。延滞は謝ったら許して下さい。

○各図書館の本をインターネットで返却できる。

○利用者のマナーを改善する仕組みを考えてください。

○文学部閲覧室は蔵書、職員の対応ともにとってもよい。ただ、時々図書の返却処理のミス(返却図書が未返却になっている)があるので、それが玉に瑕である。

○図書館の HP でエラーが多い。環 on のような会議、勉強会に使用できるスペースがもっとあればよいと思う。

○書庫からコピー持ち出しをした際に、窓口に返却するのは気が引ける。自分で元の場所に戻せると気が楽です。

○夏期休業期間が長いです。卒論、修論の提出期間(1月上旬)にもかかわらず、冬期休業が長いです。

○「群集類従」や「史籍集覧」といった様々な史料・文献を取り集めた集物は、KULINE の検索で中身まで検索できないと不便かと。(「三好記」とかで検索しても「群集類従」収録の「三好記」が引かない、など)。論文の類は掲載雑誌の名前でだけでも何とか探せるんですが、史料文献類が・・・。

○・職員の対応が人によって、とても親切だったり、不親切でがっかりしたり、差があるように思います。・特に附属図書館は空気が悪くて眠くなるので、なんとかして欲しいです(窓を開けたくても周囲に気を遣いますし、換気設備、空気清浄機などを出来れば・・・)・何より蔵書の充実をお願いします。自転車こいで同志社大に行かなくて済むように(切実。)

○文学研究科図書室をできれば土日もあけてほしい。

○冬の間、文学研究科図書室の閲覧室に長時間いると少し寒いかなと感じることがあります

○OD の人にも博士論文を書くまでは貸し出しを認めてほしい。

○同一の書物の上巻が附属図書館、中・下が他館という場合があります。このような場合、どこかに集中できればよいと思います。

○今後とも、データベースの充実に尽力して欲しいと思います。

○私は人環の文系(歴史学)院生です。文学部図書室にはいつもお世話になっており、感謝申し上げます。厚かましいお願いとは存じますが、もし可能であれば、人環院生にも夜の 7 時頃(より遅ければなおよし)までの書庫利用を許可していただければと思います。

- オーバードクターとして単位取得退学した者でも、博士論文執筆中の者には図書を貸し出ししてもらえないでしょうか。
- 基本的には満足しています。(人間欲を言い出したらキリがないですし。) これからも変わらず頑張ってください。
- 文学部の延長開館は非常に助かっているのですが、ぜひ続けてほしいです。文学部他、各学部の図書館はあまり気にならないのですが、たまに附属で態度の悪い(自分のことに没頭している etc.) 職員?さんがいるのは直すべきだと思います。
- 貸し出し期限が近づいたら、希望者にはメールで事前予告をすべき。学内の各図書館に精通しているスタッフを、各図書館に一人は配置すべき(短期的な人事異動で可能では?)。一日 12 時間、365 日の書庫利用を実現させてほしい。教員の給与を減らして人件費にあててもいいくらい。
- 龍大大宮図書館の人の声が小さすぎて何言ってるのか全く分からない。そーゆーフォローをお願いします。
- いつもお世話になっております。図書館は居て、とてもわくわくする所なので、これからも活用していきたいと思います。
- 閉館前のアラームが多すぎると思う。書棚にあるのか、研究室にあるのか、web だど分かりにくい本がある。
- 学外からのアクセスに対してホームページが非常に重い。
- 学生希望図書を購入してほしい。
- 自習スペースの利用時間の延長を強く希望します。附属も 24H になるので、せめて 22 時まで開室してもらえると、より研究に専念できると思います。
- 他の図書館では入り口にゲートがあるが、文学部は閲覧室に貴重辞書があるにもかかわらずゲートがない。これはセキュリティの問題として致命的と思われる。私は自習学習のために毎日閲覧室を使用しているが、開館時間が短いのが最も不満である。附属も 24 時間化したことを受けて、文学部図書館も時間をのばしてほしい。職員がいなくなっても、バイトの学生に戸締りを任せれば時間延長も可能なはず! 土日の閲覧室開放も含めて、開館時間の拡大を切に願っています。
- 研究科外の学生が入庫できないのが不便。検索では既に目当てを付けた本しか見つからず、新たな発見がない。できれば直接書庫に入りたい。一時貸出の雑誌をその日のうちに返却しなければならないという制限は厳しい。附属図書館と同様に、次の日まえにいただければと助かる。
- 書庫内にコピー機が欲しい。附図よりは文謁の方が色々な点で利用しやすく、とても助かっている。
- 私は他学部生ですので、文学部図書館では、いつも職員の方に書庫から(こちらは開架資料は参考書のみですので)資料を出していただかないといけないのですが、できれば文学部部内者以外でも、書庫内に入れるようにしていただければもっと使いやすいのにとと思います。
- パソコンが使えるデスクの数はきわめて少い。インターネットサービスも附属図書館の北側だけで限る理由がよく分からない。有線ケーブルの接続端子も附属図書館に限らず、文学部図書館にも欲しい。(せめて無線ランサービスとか)。インターネット接続の仕方が分かりやすく説明されていません。それに関する配布物も欲しいです。データベースに接続して資料をプリントするサービスは充実していません。文学部図書館の方は湿気が高く、寒いです。(どの季節でも) My Kuline Service で貸出期間延長や、貸出資料の予約及び自分の附属図書館に取り寄せるサービスは限定的で不便です。(できるところもあればできないところが多い。) また貴重本図書の目録が欲しいです。最近だんだんと便利になってきていますが、これからも宜しくをお願いします。
- 文学研究科の図書館の閉館時間が早く、必要な図書があっても都合がつかずに利用できないことが多いので、夜もう少し遅くまで開館していると非常に助かります。
- 帙入り線装本(和本)を 1 冊ずつパソコンでカウントされると複数の書物が借り出せなくなってしまう、従来に比べて不便になった。一帙 12 冊だとすでに制限冊数を超えてしまう。
- 文学研究科図書館について、2 点お願いしたいことがあります。1, My KULINE から貸出延長の手続きができるようにしてほしい。2, 書庫内の机・イスを増やしてほしい。
- ・小さな図書室の開館時間が短いことや、休室日や移動(の予告)が HP で案内されていないときがあることが不満です。・附属図書館書庫の台数を増やしてほしいです。せめて各階に 1 台、生協コピーカードの使える複写機がないと不便です。また、文学研究科図書室書庫内に複写機がほしいです。

○文学部図書室の職員のかたの対応はすばらしいです！！いつもありがとうございます。 附属の入り口前の自転車が邪魔。どうにかありませんかねえ。違反者にはペナルティを科すべき。 附属のドリンクコーナー以外の場所（机など）での飲食が多いのは個別に注意するべきでは？ というよりは使う学生のマナーの問題なのですが・・・。

○開館時間が延びたことは大変有難い。できれば土、日も開館してほしい。

○休日開館している図書館・室を増やしてほしい。もしくは、休日の利用時間を長くしてほしい。

○文学研究科の図書館をよく利用する者です。文学研究の図書館は 15 日が図書整理日で休みですが、15 日が土日祝日であった場合、休日明けの日（多くの場合、月曜日ないし三連休後の火曜日）を整理日にあて、利用者側は実質 3 連休（あるいは 4 連休）となってしまいます。その間、文献を閲覧できないのが、非常に不便ですので、整理日が休日であった場合、休日明けの一日を開館して、一日はさんでその次の日を休みにしていただきたく思います。一日でも早く文献を確認したいためです。土日も短い時間でも開けてもらえると本当に助かります。あと、開館を 19 時までにしていただいたばかりですが、21 時くらいまで開けていただけたら、もっともっと助かります。

○文学部図書館は学外者に閉鎖的などころがあります。私大の助教授をしていたときは閲覧もさせてもらえなくて困りました。（税立なので一般の利用も考えてほしい。）

○他学部の間が文学部図書館を利用する際、直接書庫に入って本を吟味できないのが歯がゆくて仕方がないです。何故他学部は書庫に入れないのでしょうか。いちいち職員の方に借りたい本を記して取ってきってもらうというのは、すごく面倒だし、あまり多くの本を頼みにくいです。どうしても文学部図書館に入りたいのです。

○部局図書室の中にはコピー機を設置していない、あるいは他学部生が使えないコピー機しか設置されていないところが多く、大変不便である。・また、マイクロフィルムの閲覧機が古く、鮮明な複写を得られない場合が多い。・貴重書の目録が殆ど作成されておらず、不便である。また貴重書が博物館や文学部古文書室等に分蔵されているので、学内の者にとってすら大変にわかりにくい。・他学部の図書館を利用することが多いが、書庫に入れない等制限が多すぎるように思う。学際化の進展や研究の利便性を考えた場合、学内者であれば公平に使えるようにしてもよいのでは。・文献複写等の請求をするにあたって、国立国会図書館や国文学研究資料館等学外の論文データベースを参照する必要に迫られることが多い。しかしながら図書館の端末からはアクセス制限がかけられているため、一度研究室に戻って調べなければならない。代表的な図書館・資料館等についてアクセスを許可することは出来ないだろうか。・研究生、科目履修生等には所謂オーバードクターがかなりの割合で含まれているが、図書館の利用にあまりにも制限が多い。救済策を取るか、または他大学のように一定の利用料を納めれば自由に書庫に入れる地域利用の試みを拡充して欲しい。

○土日祝日の開館と、開館時間の延長を希望します。

○開館日、開館時間の拡大は必要です。特定の職員の態度が非常に悪く、利用しにくいときがあります。教育がムリなら解雇して下さい。悪質です。

○いつもお世話になっています。 文学部にも学生からの希望図書購入制度があったらいいと思います。 インターネット利用可のパソコンを増やしてほしいです。

○文学部の図書室では、他学部所属であることにより書庫内への入室が規制されています。なぜでしょうか？おかしく思います。他学部における研究でも、必要な文献が文学部図書に置かれている場合が多々あるのです。開かれた図書室にしてほしいと願います。

○文学研究科図書館は留学生の私に一番使いやすいです。なぜなら窓口・館内の職員の説明やたいどがものすごくよいからである。いつでも手伝って下さり、他の所に所属していてもすぐに連らくして下さい本当に感謝しています。彼らのお陰で私は気らくにここに来れます。

○貸出期間が長すぎるため、貸出中の図書をなかなかかりることができない。

○休日もぜひ開館にして欲しい

○コンピューターを筆記具として持ち込んだ場合、机のそばに電源がとれる席が少ないので、もう少し増設してもらいたい。

○文学研究科図書館について。文献、資料、史料を多く扱う文学部の学生にとって、図書館が常に利用できる環境は重要です。24 時間とまでは言いませんので開館時間、開館日をもっと増やして下さい。かなり切実です。

○文学部図書館が7時まで入庫できるようになり、大体毎日5時までバイトで大学に来れない私は非常に助かっています。さらに遅くまで(9時ぐらいまで)開けてくれると研究する者としては非常に助かります。バイト対応でかまわないのでご検討いただけたらと思います。できれば土日祝日も。

○6の項目10は一般に整っているのではないかと。

○気軽に声をかけられるので安心している。ただ、附属の紹介状サービスの受付が16:30までなので、毎回間に合わない。もう少し時間を延長していただけるとありがたい。

○9時から17時までの開館時間では短い。開館時間を長くするか、休日にも開館をしてほしい。

○文学部の図書館は学内(外)のほかの図書館に比べて快適で使いやすく、清潔だと思います。たまに対応して下さる職員の方も丁寧で親切なので非常に助かっています。静かな環境で閲覧室での学習・調べ物を集中して行うことができ、広い机も便利なので、ほぼ毎日利用させていただいています。特に今年の夏季休暇中だと思うのですが、業者の方の(窓の工事?)声が大きく、少し気になりました。もう少し声をおさえていただけるとうれしいのですが。閲覧室においてある語学の辞書ですが、一般の辞書でドイツ語のもの(独和)があれば助かります。また仏和ももう少し新しいものを入れていただけたらうれしいです。(ごくまれにですが、閲覧室でパンなどを食べている人を見かけます。室内は乾燥しているので水などはやむをえないと思うのですが、さすがに咀嚼する食品は気になります。食べかすなどでテーブルや本が汚れるとよくないと思うので・・・)

○開館時間をもっと延ばしてください。開館日数を増やして下さい。土日祝日は必要です。コピー機は館内に1つ置いてください。寒いのを何とかしてください。健康に害を及ぼす水準です。移動本棚(書架。考古の場所にあるもの)の欠陥をいいかげんに直してください。CD/DVDも貸し出せるようにしてください。当日利用のみは不便です。本が見つからないといって私を疑うのはやめてください。傷ついています。返却済みの本で罰則点数をつけて貸出禁止にするのはやめてください。免罪です。トイレへの近道がほしいです。迷宮の最奥からは遠すぎます。

○書庫に文学部生しか入れないというシステムは、理解しかねます。一度に多くの学生が入ると管理に困るという理由があるかもしれませんが、他の図書室を見れば、そんな重大な問題は起こらないというのがわかるはずで。職員の方に頼んで持ってきてもらった本は、一瞥しただけで「あ、全く研究には必要ないな」と分かる本が多々あります。その場で返すのは、本当に職員の方に申し訳ないし、面倒くさいです。また、一度にたくさんの文献を借りたいとき、事前に報告しておけば出しておいてくれるということですが、当日急に、複数の本が必要という場合も多くあります。職員の方に十冊以上も頼むのは心苦しいです。

○文学部でも貸し出しの延長をKULINEでできるようにしてほしいです。一度にたくさん借りるため、同日返却は困難な場合が多々あるので。

○文学部図書館についてですが、19:00の閉館時、それより10~15分ほど前から職員のからがバタバタと閉める支度を始め、修了のチャイムが複数回にわたって鳴らされるのですが、せかされているようで不愉快です。早く閉めてしまいたいのは分かりますが、職員の仕事やアナウンス or チャイムは、可能なら附属と同程度の範囲で収めてほしいです。

○附属図書館のゲートから「ピー」という機械音が発せられているのが不快です。

○以下は全て文学部の図書館に関する提案です。1.図書館内での電話等の対応の声が大きく、部屋中に響いてしまいます。音を遮断するため、透明なガラス素材のパーティションなどでカウンターと閲覧室を区切ることはできないでしょうか?2.図書館の閲覧室の英語・ドイツ語などの語学辞書が少ないです。書架の都合もあるでしょうが、もっと増やすことはできないでしょうか。3.できれば図書館の入り口のドア近辺に、開館カレンダー(大き目のもの)を貼るなどして頂けると、次の休館日などが把握しやすいです。4.他大学の方には文学部の図書館がどこにあるのか分かりにくい気がします。教育学部の図書館が実践しているように、建物の外に「文学部の図書館はこちらです」などの案内表示を出してみてもいかがでしょうか。5.現在のところ、貸し出し禁止の書籍を閲覧、コピーする際は、申込用紙に記入しないといけません。手続きを省力化するため、学生証+書籍をバーコードで読み込んでPC処理をすることは将来的に可能でしょうか。6.卒業生も書籍を借用できるようにぜひご検討下さい。カウンターの方はとても親切な方が多くて助かります。いつもありがとうございます。今後もよろしくお願い致します。

○破損しており修繕を要する図書が多いと思います。

○卒業生でも利用させていただけるので有難いです。(電子ジャーナルやデータベースについても、ゲスト用の ID,パスワードなどで利用できるとより有難いですが。)

○上記設問の 6 の 6 番にかんしては、どうしてコピーする書類の番号などを記入しなければなりませんか?その情報はいったい何に使うんですか?記入よりかしだしをして、コピーして、すぐ返すの方が楽です。19 番にかんしては、とても手数かけると思いますが、資料の配置のやりかたを変わらなければなりません。とてもみづかりにくいので、図書館を利用したくなくなります。そして京大の図書館に入るのに、学生証明書が必要ではない方がいいと思います。今のままだと、情報や知識が学費をはらっている人に限られているので平等ではありません。

○非常勤として前年度に借りていた本を次年度に延長して借りたときに、次年度の身分証明書を事務室で発行してもらって、それをもとに手続きを行うことになる。この際、すべての本を手書きで貸出票に記入しなおさなければならない。(コンピュータ上で手続きを電子的にすることができない。)これは借りる側にとっても貸し出す側にとっても非常な負担である。こういった場合、仮延長手続きをコンピュータ上で行えるように、何らかの手立てを考えてほしい。(次年度の身分証を提出した時点でコンピュータでも延長ができ、そして後から貸出カードを持ってこさせるというような。)こういった特例の場合、コンピュータ画面に「備考欄」を設け、そこに事情を記入するということを提案したい。

○昭和 38(1963)年 3 月に大学院博士課程(文学研究科)を満期退学して以来、昭和 42(1967)年頃に一、二度修士論文をお借りしたのみで、ほとんど来館する機会はありませんでした。本日(2009 年 1 月 7 日)、所用で京都へ参りました。40 年ぶりに訪問・利用いたしました。閲覧したい図書について非常に親切・迅速にご対応いただき、大変感謝しております(以上、文学部図書館について。2009 年 1 月 7 日記す)